



「大きくなって二酸化炭素をいっぱい吸収してね」と力を合わせて植樹する森林愛護少年団(上)と約270人が参加した植樹祭

「元気に育ってね」と願いを込めて植え込む参加者

統計の森にサクラを植樹

町統計調査員協議会(林春男会長)は五月十五日、小苗代の統計の森にベニヤマザクラとケヤキの苗木十九本を植樹。「満開のサクラの下で交流会を」と、早くも花見に思いをはせています。植樹に当たってアカマツの伐採などの作業を江刈自治振興会の協力を得ました。

協議会45周年の記念に



江刈中学校を見渡す場所にサクラの苗木を植える役員

山

豊かな森林を守り育てよう

第8回町植樹祭を開催

第八回町植樹祭は五月十二日、グリーンテージ北側の企業の森「ふじしまの森」で開かれました。「くずまき高原環境の森づくり事業」として行われた植樹祭には小屋瀬森林愛護少年団、江刈小、吉ヶ沢小と葛巻中の児童生徒や一般町民など約二百七十人が参加。伐採跡地の斜面にベニヤマザクラ、山ツツジなど約二百本が参加者の手で丁寧に植えられました。

参加した「ふるさとづくり基金条例」による寄付者からは、「植林は環境を守り育てるために大切であることを再認識した」と町の取り組みに理解を示し「小さな町での地球温暖化問題への取り組みはすばらしく、今後も続けてほしい」と応援のメッセージも寄せられました。植樹祭は、県企業局の植樹活動支援や町が参加しているCO2ダイエット宣言事務局の苗木の助成なども受けています。

くずまき高原環境の森づくり事業



自分が選んだ葉っぱを紹介(左)。木の名前を森林組合の職員から聞いて勉強する吉ヶ沢小の皆さん

森はいろいろな緑がいっぱい

吉ヶ沢小が森林学習会

吉ヶ沢小学校(佐藤見校長・児童7人)は5月12日、江刈川地区にある企業の森「くずまき高原こいの森」で森林学習会を行いました。児童たちは森の散策で集めた木の葉を白い画用紙に張り付け、いろいろな緑がいっぱいあることを発見。「銀色に光ったナラの葉っぱを見ることができた」と上家萌香さん(2年)はうれしそう。森林の大切さを学んだ一日でした。

はじまりました

家庭菜園お助けし隊事業

食の安全・安心に対する関心が高まっている中で「畑もない」「知識もない」「経験もない」という方に、町が家庭菜園づくりのお手伝いを行う「あなたの家庭菜園づくりお助けし隊」事業が本年度新たにスタートしました。町内外からの九組の申込者は、それぞれの想いで菜園を楽しみます。



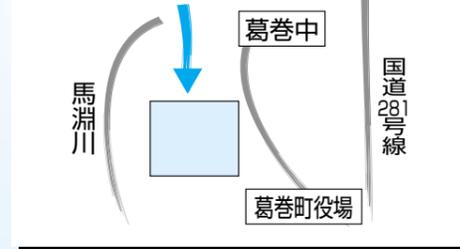
耕し方の手本を見せる町の職員(上)キュウリやナスなどの栽培方法について注意点を解説する八幡平農業改良普及センター上席農業改良普及員・本田純悦さん(円内)

畑

遊休農地解消にも一役

栽培技術 ご相談を
「お助けし隊」事業は五月十二日、町内の内田子地区にある現地で参加者による一斉耕起式を行いました。「自分で食べる野菜は自ら育て、食料にさらに関心を深めてほしい」と始まったこの事業。利用者の自己紹介で和気あいあいの雰囲気の中で菜園利用の約束事などを確認し、耕し方などの説明を受けて終了しました。「お助けし隊」事業は町が農地の貸借を仲介し、栽培の指導は所有者や町などが行うもので、町の「ゼロ予算事業」の一環。家庭菜園は、遊休農地を活用し一区画〇・五町を年間五百円で貸し付けるもので、今回は九組の申し込みでスタートしました。家族のふれあいの場や健康づくりのためにもぜひ家庭菜園づくりに参加しませんか。お問い合わせは農林環境エネルギー課(内線4)へ。

家庭菜園はここです



「おいしい野菜つくろぞ」と意気込みを見せる参加者。円内は全員が牛乳で乾杯。

わたしたちも参加しています

- **佐藤 晋さん**
32歳・岩手町
自分で育てた野菜を子どもに食べさせたい。
- **小林みどりさん**
49歳・下町
収穫したての新鮮野菜を夕食で味わいます。
- **大平京子さん**
54歳・田子
周囲へ迷惑掛けないように管理します。
- **長岡 功さん**
60歳・田子
退職して毎日が休日。皆さんと楽しみたい。
- **高田晃さん・弓子さん**
33歳・30歳 下町
近くて便利。0.5坪は結構広いですよ。